

ふるさと加西の魅力を再発見

加西市バイオマスタウン構想



バイオマスって何？

加西市では、近畿圏内の自治体に先がけて平成17年11月に「バイオマスタウン構想」を発表しました。この中で食品バイオマスの飼料化、バイオガスシステム、木質バイオマス事業、家畜排泄物の堆肥化などを計画しています。

今年度は、加西南工業団地において、食品残さを飼料化する事業を支援します。地域の食品加工場やスーパーから出る食品廃棄物の減量化が期待されます。

今後も多くの方々にご参加いただける機会を設けながら事業を推進したいと考えています。詳細は、ホームページをご覧ください。

バイオマスは、決して新しいものでも特別なものでなく、古くから私たちの生活や風土の中に溶け込んできたもので、元々、私たちの日常生活の中にあった、古くて新しい技術です。バイオマス事業は、今までお金をかけ、エネルギーもかけて、焼却したり、捨てたりしていた有機物を、資源として活用することです。バイオマスとして利用される資源を大きく分類すると、次の3種類に分けられます。

廃棄物系バイオマス

- ・ 畜産資源 (家畜排泄物等)
- ・ 食品資源 (加工残さ、生ゴミ、動植物性残さ等)
- ・ 産業資源 (パルプ廃液等)
- ・ 林産資源 (製材工場残材、建築廃材等)

未利用バイオマス

- ・ 林産資源 (林地残材)
- ・ 農産資源 (稲わら、もみガラ、麦わら等)



資源作物

- ・ 糖質資源 (さとうきび、てんさい)
- ・ でんぷん資源 (米、いも類、とうもろこし等)
- ・ 油脂資源 (なたね、大豆、落花生等)

バイオマスタウン構想のメリットは？

- ・ 有機物を大地に還元することで、廃棄物とその処理費用を削減するとともに、新たなエネルギーを生み出すことができる。
- ・ 河川やため池の富栄養化による水質汚濁を防ぎ、稀少動植物の住みやすい環境を守ることができる。
- ・ 安全・安心の農業生産スタイルを再評価することにより、地産地消を進め、地域の農業を復権することができる。
- ・ 先進的な取り組みと高い環境意識の下、安全性と付加価値の高い「加西ブランド」を創造し、特色ある食材を開発できる。
- ・ 土を守り、農作物を育て、しっかりとした食育を通して、次世代を担う子どもたちを地域が一丸となって育てる、真の人間教育が実現できる。

問合せ先：農林・食材課 TEL 42-8741

菜の花プロジェクト

てんぷら油で車が走る？

使用済み食用油（廃食油）はゴミとして焼却炉で燃やされていますが、回収しバイオ燃料に精製するとディーゼル自動車で軽油の代替燃料として使用することができます。

課題は、①どれ位の廃食油が収集できるか？

②廃食油の精製のコストは？

③軽油の代替としての経済性は？などなど…

菜の花からテンプラ油をしぼり、テンプラを食べて、廃食油をバイオ燃料にして「レールバス」が走るかも…夢は広がります。

